

夏休み期間中のインターネット利用の注意点

埼玉県教育委員会

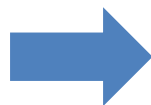
もうすぐ夏休みですね。時間にゆとりのある夏休みには、子どもたちがインターネットを利用する機会も増えるかと思います。そこで今回は、夏休み期間中の子どもたちのインターネット利用において、注意しておくべき点についてお話ししたいと思います。

長時間利用に要注意

夏休み期間中に問題となる可能性があるのが、インターネットの長時間利用。夏休みは自由に使える時間がたくさんあるため、ついつい時間を忘れてインターネットに熱中してしまう子どもたちが増えることが予想されます。

しかし、インターネットの長時間利用が子どもたちの実生活に及ぼす悪影響は、けっして少なくありません。夜更かしをして生活リズムがくったり、勉強に集中できなくなったり、……夏休みをあけてからも、夜中までインターネットを使う習慣がなおらず、睡眠時間が少なくなって健康をそこねてしまったり、といったことも考えられます。

朝早く起きる必要もないし、もうちょっとだけやってから寝よう



こうした状況におちいらないためにも、各ご家庭でインターネット利用のルールを作ることが大切です。すでにルールを作っているというご家庭でも、夏休み用にルールを改変しましょう。

ルール作りの例

- ・1日のインターネット利用時間を決める（1日～時間まで）
- ・夜にインターネット機器を自室に持ち込ませない（夜10時以降はリビングに置いておく、など）



不適切な投稿が増えることも

他にも気をつけておきたいのが、不適切な行為に関する投稿です。夏休み期間には、お祭りなどのイベントがたくさんありますし、友達同士で外に遊びにでかける機会も増えるかと思います。

しかしなかには、ついついハメをはずしすぎて、お酒を飲んだり、たばこを吸ったり、川に飛び込むなどの危険行為をおこなったり、公共の場で騒いだりして、さらにそうした様子を撮影したものをSNSなどのインターネットに投稿してしまう子どもたちもでています。

こうした投稿をおこなうと、投稿を見た人たちから非難のコメントが集まったり、過去の投稿から個人情報を探られて、問題の投稿とあわせて個人情報をインターネット上に拡散されたりする可能性があります。

学校全体で指導を

不適切な投稿を防ぐためには、自分の投稿は友だちだけでなくさまざまな人が目にする可能性があることを意識し、投稿する前に不適切なものが含まれていないか確認する習慣をつけるよう、学校全体で指導していくことが必要です。



夏休みはインターネット利用の問題が起こりやすい時期です。夏休みに入る前に今一度、子どもたちにインターネットの利用方法を見直させてみてはいかがでしょうか。